

# ひまねき

警固屋学園通信  
第85号  
29.10.2  
発行

## 地域に生きる・・・宇佐神社清掃活動



宇佐神社の祭礼を一週間後に控えた九月十八日に、児童生徒と地域の方とで宇佐神社の清掃を行いました。折しも台風が通過した直後で、境内には落ち葉が大量にあり、非常にやりがいのある活動となりました。

児童生徒が縦割りの二班に分かれて声を掛け合いながら作業を進めました。地域の方にも励ましの声を掛けていただきながら、暑い中、一時間程度できれいにすることができました。



## 六年生の感想より

◇私は、中学生や友達といっしょにほうきで落ち葉を集めたり、雑草を取ったりしました。そうじが終わった後、そうじをした所を遠くから見ると、すこききれいになっていたのでそうじをしてよかったと思います。

## 九年生の感想より

◇私は今回のボランティアで、地域の方々と協力してきれいな神社で祭りが行えるよう、精一杯清掃をしました。班の人と協力し、とんどんきれいになっていく神社を見るのはとてもやりがいがありました。雑草を抜いたり落ち葉を拾ったり、木の枝を拾ったりするのは、とても大変でした。蚊に刺されることもありましたが、とてもかゆかったです。落ち葉がたくさん落ちていて大変でした。台風が来たのでその影響もあって、たくさん落ちていました。しかし、一時間ほど班の人や地域の方々を協力するときれいになっていたので、とても気持ち良かったです。自分達がやってきたことが目に見えるということとは、とても気持ちがいいなあと思いました。地域の方から「お疲れ様。」「ありがと。」「と声をかけていただいたのもうれしかったです。

## 共に生きる・・・保生院訪問



九月十六日、九年生の有志十二名が保生院を訪れ、「いのちの歌」と「旅立ちの時」の合唱を披露しました。合唱を聴いてくださったお年寄りの方々は、この訪問をとっても喜び、涙を流しながら聴いてくださいました。

## 九年生の感想より

◇人生の先輩に聴いてもらって、自分の中で考えさせられた。日々の生活の中に大切なものがたくさんあると感じた。母が産んでくれた命を大切にしたいと思った。

◇練習したかいがあった。世代が違っても自分たちの歌が心に響いたことを感じ、嬉しかった。



共に生きる二・・・敬老の日



九月十八日に生徒会執行部の三人が、保生院で敬老の日の行事に出席しました。炭坑節を地域の方と一緒に踊ったりして、会を盛り上げ、利用者の方々とふれあいました。

同じ日に、「常楽園」では四年生の二人が一日園長補佐を務めました。敬老の日の式典に参加し、挨拶をしたり、長寿のお祝いを贈呈したりしました。利用者の方とお話をしたり、一緒にご飯を食べたりしながら楽しい時間を過ごすことができました。

今後も地域の施設等を訪問し、利用者の方との交流をしていきたいと思えます。

体験いろいろ・・・野外活動

九月四日(月)から三泊四日で、五年生が江田島青少年交流の家へ野外活動に行きました。初日の四日(月)は、四つのグループに分かれて民泊を行いました。各家庭で、楽しい思い出ができ、子ども達は名残惜しかったようです。その後、国立江田島青少年交流の家で、野外炊飯、カッター訓練等の活動を行いました。三泊四日の野外活動を通して、感謝の気持ちや協力することの大切さを学ぶことができました。

**五年生の感想より**

◇カッター訓練では、個人ではなく、みんな協力してすることが、どんなに大事かを改めて知ることができました。

◇野外炊飯では、カレーに集中してご飯のことを忘れていたけれど、友達が火加減を調節してくれていたから、おいしくできて良かったです。



告知!

呉阪急ホテル一階ロビーの左奥壁際に、七年生が撮った写真十三枚を掲示しています。これは、総合的な学習の時間に取り組んだ警固屋の良さを発見!発信!」の活動の成果です。十月十五日まで掲示しています。ぜひ、行ってご覧ください。(ちなみにこれは八月に町づくりセンターにも展示していただいております。)



《編集後記》

先日の台風による強風で中学校の校舎前のポプラの大きな枝がポッキリと折れてしまいました。自然の力は強大です。ご意見・ご感想は、警固屋小学校・中学校にお寄せください。窓口は各教頭が担当いたします。